

広報

さなだまち

NO.365

2004

1

特集

もういくつ寝ると

昔は家で作ったもんだよ。

12月、シルバー人材センターのわら細工班ではお正月用のしめ飾りづくりが盛んに行われていました。今年は10月からつくり始めて、5,000個程度を作る予定で、わらの束が次々と見事なしめ飾りへと変わっていきます。



上下水道料金はどうなるのか？

町が参加する任意合併協議では合併に関する様々な協議が行われてきた。その中では、私たちの身近な生活に係る内容が話し合われ、調整の方針がだされている。その内容はどうなっているのか？また私たちにとってどうなのか調べてみた。

水 道料金の一般家庭で使われる平均的な20³m³の4市町村比較は下表のとおりです。4市町村中、真田町は最も高い料金になっています。ではなぜ高いのか？真田町は水源が8ヶ所ありますが、他の市町村は2〜3ヶ所。真田町は集落が点在しているため、各地区に配水するために多くの水源が必要です。配水管の総延長も約17万3千mで、上田市の約54万6千mに次ぐ長さ。上田市の3分の1の水道管延長に対して人口は10分の1弱。つまり1人当りのコストは高くなります。

合併の調整方針は、「合併時には現在のとおりの料金として、新市になったら上下水道審議会を新たに設け、資産・経営状況、建設計画、料金体系など検討を進め、新料金への段階的な改正に努め、合併後5年をめぐりに経営統合、統一料金の設定を目指す」となっています。

町 の水道事業は、一般会計とは別の独立採算制を原則とした公営企業会計で運営しています。しかし公営であるために採算の合わないものにも投資しなければならぬ場合があります。その費用な

どは町の一般会計から繰入しています。この繰入金と使用料、またその比率は下表のとおりです。繰入金の使用料に対する割合は、上田市の1%に対して真田町は35%です。それだけ税金などを基にした一般会計からの繰入の割合が高いわけです。

一般会計の収入の40%近くを占める地方交付税が今後減少した場合、繰入金の削減という状況が予想されます。その場合、経費の削減をはかってもなお不足分は水道料金の値上げをしなければ水道会計は成り立たない状況です。



下 水道使用料の一般家庭平均的使用量20³m³の4市町村比較は下表のとおりです。

合併の調整方針は、「合併時には現在の使用料とし、新市になったら、水道料金同様上下水道審議会で、検討を進め、合併後の経営状況を推計した上で適正な使用料水準を定め、合併後5年をめぐりに下水道事業すべてに地方公営企業法を適用して新しい使用料への段階的改正に努め、統一使用料設定を目指す」となっています。

下表のとおりどの市町村も一般会計から多額の繰入金があります。

あります。使用料が繰入金を上まわっているのは上田市のみ。下水道については、繰入金があれば、経営が成り立たないという状況です。

真 田町も約4億円の繰入金があります。これは一般会計の約8%です。その一般会計の収入の最も高い割合の地方交付税が減った場合、下水道会計繰入金への影響は当然予想されます。

仮に繰入金を1億円削減し、それを使用料で賄えば、使用料収入は、約1億6000万円ですから、単純計算すると1・6倍になります。これを

現在の月額使用料3520円で計算すると月額約5600円にしなければなりません。

ただ、町の下水道使用料は14年間値上げしていないことも事実。人口密度も高く、効率のいい上田市が菅平を除く真田町より高い料金になっていくことを考えると、合併をするしないにかかわらず値上げを検討する時期にきていると言えます。武石村では合併をしない場合は使用料を2倍にする試算をしています。どの市町村も一般会計に与える下水道会計の負担が重くのしかかっているのが現実です。

下水道使用料・繰入金・使用料収入の比較

	真田町		上田市	丸子町			武石村
	特定環境保全 (菅平処理区)	特定環境保全 (真田処理区) 農業集落排水	全地区	公共下水道 (丸子処理区)	特定環境保全 (西内処理区)	農業集落排水	農業集落排水
月額料金	4320円	3520円	4041円	3192円	2877円	3045円	3000円
繰入金	3億9538万円		15億4373万円	5億9077万円			1億6115万円
使用料収入	1億6295万円		17億3870万円	2億173万円			3496万円
比率（繰入金÷ 使用料収入×100）	243%		89%	293%			461%

※月額料金は20m³使用の場合。繰入金・使用料収入は平成13年度決算額

上水道料金・繰入金・料金収入の比較

	真田町		上田市	丸子町	武石村
	菅平高原上水道	町簡易水道	上水道	上水道	簡易水道
月額料金	4760円	4230円	2478円	3318円	2726円
繰入金	1億834万円		2033万円	2285万円	3192万円
料金収入	3億1191万円		18億3641万円	4億7466万円	6863万円
比率（繰入金÷ 料金収入×100）	35%		1%	5%	47%

※月額料金は一般家庭標準口径13mm使用で20m³使用の場合。繰入金・水道料金収入は平成13年度決算額



どんど焼き。しめ飾りや、物作りが焼かれ、正月行事が終わる。

♪もういくつ寝ると〜と歌が聞こえてくると、お正月。
新しい年の始まり。

しかし、この歌に出てくる遊びも
今はなくなっているのではないだろうか？

私たちの正月の過ごし方も

昔とは変わってきているようだ。

そこで、今月は昔からの正月行事を知る人に
昔はどのように正月を過ごしていたのか話を聞いた。

そして、なにげなくしている正月行事の
いわれや由来などを調べてみよう。

くるので、供える」のだそう
です。この松を山から取って
くるのが松迎えで、「お松お

ろし」といって、28日に行く
ことが多く、迎えてきた松は
露地など人の踏まない場所に

**父親が作るのを見て、子どもの
ときから作っていました。**

岡嶋庄平さん（曲尾）

おかじま しょうへい／シル
バー人材センターのわら細工
班でしめ飾りを作っている。



特集 もういくつ寝ると

置いておいたそうです。「こ
の松だけは自分の山でなく、
区有林や他人の山から取っ
ても大目にみてくれた」のだそ
うです。

「昭和の初めごろまでは、豆
がらや、木炭、コンブ、ごま
めなどをしめ飾りにさした」
そうです。また飾りに使う裏
白というシダ植物は、年越用
品などを売っている店でくれ
ていたそうです。

「しめ飾りは昔は買ってくる
ものじゃなかった。28日の餅
つきのあと家で作っていた」
と岡嶋さん。「父親が作るの

を見て、子どものときから作
っていた。70歳過ぎの人は自
分で体験しているのでは」と。

「しめ飾りくらい残しておき
たいね。昔のほうが、のんき
というか、ゆったりしていた
な。家族みんなをやって、忙
しいからやらないという家は
なかったねえ」と話してくれ
ました。

**昔は上田の商店街でも正月には
松の木が並べられました。**

柳沢 斉さん（戸沢）



やなぎさわ ひとし／昔に比
べると正月の行事も簡素にな
ったという。

戸 沢区は昔からの行事が比
較的残っている区。

戸沢で長年わら馬ひきのわ
ら馬を作ってきた柳沢斉さん
に正月行事の話を聞きました。
門松にする松は、戦前まで
は7〜8年くらいの若い松を
2本切って門松にしていたそ
うです。また「昔は上田の商
店街でも正月には切った松の
木が並べられた」そうです。

松を取る日も29日は苦松、
30日は一夜松といって避けら
れたということで、「これは
前もって用意をしておいて、
あわててやるものじゃないと
いう戒めの言葉でしょう」と
柳沢さんは言います。

年神様を迎える場所として
「年神棚を作る家もあった」そ
うです。年神棚は、新しい板
を買ってきて縄で吊るして作
る神棚のこと。

正月に玄関にカニの絵を書
いた紙を張ったり、「口々に
蟹」と書いた紙が張っている
のを見たことがある人もい
ると思います。

1月6日はカニの年とりと
言われ、ごちそうを作り家族
で年とりが行われます。

「以前は川に沢がにを取りに
行って、取ったカニを焼いて
串にさして戸口にさしていた
と柳沢さん。「昔はカニがい
っぱいとれたが、だんだん減
ってきてやらなくなった」と
言います。

1月14日に行われるのが
「物作り」。柳かまゆみの木の
枝に米の粉で作った繭玉や稲
の花といわれるだんごをつけ
ます。赤や緑の食紅でだんご
に色をつけることもあります。
15日にはしめ飾りをおろし、
どんど焼きでしめ飾りや、前
日に作った物作りを焼きます。
どんど焼きの灰を家の周りに
まくとへビが来ないと言われ、
「へビもムカデも出るなよと
言いながら灰をまいた」と柳
沢さんは言います。戸沢では
「どんど焼きは個々の家の庭
で焼くのが昔からのやり方だ
った」そうです。



特集
もういくつ
寝ると



さかい もとる／歴史編や民俗編など真田町誌の編さんに携わり、県内の伝統行事にも詳しい。

1年の祭りの中で特に正月は大事な行事だったのです。

酒井 依さん（元真田町誌編さん主任）

正月行事にはどんな由来やいわれがあるのか、また町の正月行事にはどんな特徴があるのかなど、興味をもった方もいるでしょう。

そこで、真田町誌の編さん主任を務めた酒井依さんを上田市の東信史学会事務局に訪ね、話を聞きました。

盆と正月は似ている

酒井さんを訪ねると、「盆と正月が一緒に来たようだと

いう言い方がありますよね」と話始めてくれました。つまり、「どちらも、忙しく賑やかで楽しい、1年中の祭りの中で大事な行事、特に正月は大事な行事だったのです」。



門松とワンジメのしめ飾り。松は年神をより付かせるという意味がある。

正月行事の由来は？

が山仕事の仕事始めだった」と言います。

上小地方が中心のカニの年とり

1月6日に行われるカニの年とり。かつては本物の沢がにを串にさして戸口にさしていましたが、カニの絵に変わり、蟹という字、かにとひらがなで書くというように行事

が変遷してきているそうです。「カニは殻をぬぐので、成長の神という意味とハサミが悪魔をはらうという意味がある」と酒井さんは言います。そして「この行事は上田小県地方が中心に行われていた」そうです。

なにげなく行われているカニの年とりですが、上小地方が中心に行われていることを知る人は少なかつたのではないのでしょうか。

編集室からひと言

行事には意味があり、私たちの生活の中で伝えられてきたもの

カニの年とりなどは、本物のカニから絵に変わり、字へと変わった変遷を見ると、徐々に簡素化されていった様子が見えます。しかし、それぞれの行事には行われる由来や、意味があり、私たちの生活の中で伝えられてきたものです。

それぞれの行事の意味を知ると同時に、しめ飾りなど、少し意識して引継ぎ、次の世代へつなげていく努力も必要ではないか：シルバー人材センターのみなさんの手から次々と素晴らしいしめ飾りが生み出されるのを見てそんなことを感じました。



どんど焼きでまゆ玉や、稲の花を焼く。作物の豊じょうを願う意味がある。

れに1月14日から15日の物作り、どんど焼きが小正月の行事になるそうです。物作りのまゆ玉や、稲の花を作ること、予祝（よめぐ）といって作物の豊穣（ほうじょう）を願う意味があるそうです。年とりの食事は、「白いまんまと赤いとが基本で、年

仕事始めは、三つありました。2日が家の仕事、4日が田畑の仕事始めとされています。そして「長野県内では11日か12日が山仕事の仕事始めとされる日が多かった」ようですが、「真田町は、17日



かつては本物の沢がにを焼いて串にさし、戸口に飾ったカニの年とり。カニの絵や、蟹、かに、という字を戸口に張るというように変化しました。

今月は昔の正月を知る方に正月行事についてお聞きし、また正月行事の由来や意味を調べてみました。取材をして話を伺うと、昔のほうがゆとりがあり、丁寧な昔からの行事が引継がれていたように感じました。

住民意向調査票の 意見に答えます

まうのですか？

先月号でも合併に関する住民意向調査票の裏面に書かれたご意見やご質問にお答えしましたが、今月もそれらの一部を紹介してお答えします。

答え

体育祭などは

特色ある事業です。

質問 町として今までやってきた行事、体育祭や様々なスポーツ関係は、どうなっ

総合事務所である地域自治センターには、地域の特色ある事業に配分できる一定枠の

体育祭や真田まつりなどの継続は、地域での特長ある事業に配分する一定枠の予算で住民の皆さんの話し合いにより決められています。



ンターになってしまふのは残念です。

答え

自校給食は合併後も継続していきます。

合併協議会において、今までどおり自校給食とするとしています。

意見 合併によって市町村税が上がるのは困る。

答え

町県民税が、年間500円上がります。

町県民税が、法律により市町村の人口規模に応じて年間500円上がるだけです。今、町県民税均等割は全国一律にする方向で検討されています。



より安全なドライ方式が採用されている新しい真田中の給食室。合併時、町内小中学校の自校給食は現行のとおりの方針が確認されています。

町の人口は減少すると予想されます。

答え

意見 今後、人口が著しく減少したら、合併したほうがよかったと思うかもしれません。

予算があります。体育祭や真田まつりなどは、その中で住民の皆さんとどうするのか話し合い、決められます。

町人口の将来推計では、次の国勢調査の平成17年をピークに急激に人口減が続くと予想されています。ですから、少子高齢化社会に対応するため、合併を検討しています。

意見 合併について、一方面的押し付けでなく、多方面、例えば老人会、婦人部、PTA、サークル、ボランティア、区、スポーツ団体などとのこまかい話し合いをもう少し重ねて欲しいと思います。

意見 合併について、一方面的押し付けでなく、多方面、例えば老人会、婦人部、PTA、サークル、ボランティア、区、スポーツ団体などとのこまかい話し合いをもう少し重ねて欲しいと思います。



11月29日には真田中学校の地域開放参観にうかがい、PTAのみなさんと話し合いました。

答え

団体の会合などに出向いていきます。

町では各区で住民懇談会を行ってきましたが、出席していただいた方は、有権者の10%にも満たない800名ほどでした。

このことから、各種団体の会合など積極的に出向いて懇談したいと考えていますので、ぜひご連絡ください。

意見 合併した場合、住所に

真田町という名称は残せません。

答え

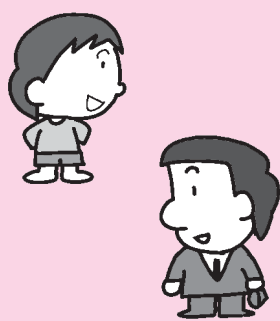
は、〇〇市真田町というように、真田という文字を残して欲しい。

新市の名称が決まってから、真田町という文字を残すか、残さないかは真田町の住民で決められますので、真田という文字を残すことはできます。

意見 行政方向の違う4市町村がどこまでを合わせていく

なぜ合併が検討されるのでしょうか？

現在日本全国で市町村合併が検討されています。なぜ全国で検討されているのか？今月はその背景をわかりやすく、中学生の真田君と大人の町夫さんの会話で考えてみましょう。



今のままやっっていけないの？

真田君 なぜ市町村合併を検討するの？僕は今のままで十分だと思うんだけど？
町夫さん そうだね、できればそうしたいんだけど、人口が減ってきたり、国も県も町もお金がなくなってきた、今と同じようにはやっていけないんだ。

少子高齢化の進行

真田君 少子高齢化も合併

を検討している理由のひとつって聞いたけど本当なの？
町夫さん そうだよ。子どもの生まれる数はどんどん減っていて、将来大きな問題になってくるんだ。

真田君 でも、そのことと市町村合併とどういう関係があるの？

町夫さん 少子高齢化が進むと、働いて税金を納めてくれる人が減って、福祉や医療や介護保険などにますますお金が必要になってくるよね。そこで、合併をして対応したらどうかということなんだ。

真田君 このままだと、僕たちが働きたす頃は今よりずっと負担が増えちゃうの？

町夫さん そうだね。でもできるだけそうならないようにしないといけないね。

真田君 どうすればいいの？
町夫さん これには二つの考え方があって、一つは合併して人件費などを削減して必要なお金をまわすという方法。もう一つは合併しないで行政サービスを下げたり、税金や水道料金などを上げながらやっていく方法だよ。

日常生活圏の拡大

真田君 日常生活圏の拡大と合併問題とは、どう関係あるの？

町夫さん 文化施設など近隣市町村には同じような施設がいくつもあるよね。施設の維持管理にはお金がかかるし、もったいないと思わないか？それにお父さんも隣町にある会社へ行って働いているだろう。だから市町村の境界なんて気にして生活している人はいないということなんだ。

問い合わせ 合併対策室
有線2066 ☎72-2202

12月5日から16日まで、平成15年第4回真田町議会定例会が開催されました。
この議会では、教育委員会

委員の任命についての同意を
求める議案など17件が審議され、いずれも原案どおり可決
されました。

大きな変革期を迎え 問われる町の今後のあり方

町長所信表明（要旨）

法定合併協議会の 設置議案提出を見送り

11月12日開催されました任意合併協議会において、地域住民の皆さんの合併議論や理解が深まるよう、より具体的でわかりやすい情報提供と、いつその対話が必要であるとの判断から、12月定例議会には法定合併協議会の設置議案を提出せず、見送ることといたしました。

今後は任意合併協議会の場のみならず、議会、各種団体等様々な場で議論をしていた
だき、引き続き協議を進めていくことといたしました。

今後の地方自治の あり方についての答申

国においては27次地方制度調査会から、現行の合併特例法の経過措置、合併に係る新法の制定、地域自治組織の導入等、今後の地方自治のあり方についての答申がなされました。この答申で合併困難市町村については、窓口サービスなど一部の事務のみを処理し、残りの業務は県が処理する「特例団体」とする制度も創設されるとしています。

真田町においても合併をせずに現状を維持しようと、住民負担を上げず、住民サービスを落とさず行政運営を続けていけば、自ずと財政再建団

体となることが予想され、この救済制度の適用を受ける可能性は高まります。

このことは、現在目指しております対等な立場で意見を
出し合いながら協議していく
「新設対等合併」と異なり、
「強制吸収合併」を意味して
いると言えます。

合併は地域の将来を左右する重要事項であり、慎重に
対応し、より元気で魅力的な地
域づくりに向け町民の皆さん
と議論をいっそう深めながら
取り組んでまいります。

地方交付税の大幅な 減額が予定

来年度の町の財政状況は、

可決された主な議案

◇教育委員会委員の任命の同意を求める議案

教育委員会委員の宮下蘭子氏の任期満了にともない、同氏の再任について同意を求める議案が可決されました。

◇公共下水道条例の一部を改正する条例

下水道へ排水する際に設けることとされている除外施設の設置規定を改正する条例が可決されました。

◇平成15年度真田町一般会計補正予算

7004万円を増額し、総額を54億3239万円とする補正予算が可決されました。
主な内容は、次のとおりです。
○地域づくり基金積立金 3200万円

中学生の 税についての作文

堀内 若菜

（真田中3年）

税とは何か。そんな事は一度も考えた事はありませんでした。消費税だって品物の値段より多く払うという決まりだとばかり思っていたし、他の税金を払うのは「国民の義務」だからといって特に調べたりする事はありませんでした。でも、私も受験生です。15歳といえば「元服」といって、昔では立派な大人として見られたそうです。だから、私もすでに払っている消費税の行方等を知っておくべきだと思いました。その消費税は、地方消費税も含まれていると知り、驚きました。地方消費税を説明しろといわれても分かりません。でも、国のため、私達が生きていく上で大切な税金がたぶんたくさんあることが分かりました。そもそも税というの

国の厳しい地方財政計画により地方交付税の大幅な減額が予定されており、町税については、本年度も積極的に滞納整理に取り組んでいるものの、景気低迷の影響等により多くの滞納を生じている状況で、来年度に向けても、税収が回復する見通しは皆無であり、大変厳しい状況となることは明らかであります。

このような状況の中ではあります。住民に直結した事

傍陽小学校 特別教室棟が完成

傍陽小学校特別教室棟建設につきまして、地元萩区、近隣の皆様の温かいご理解のもと順調に進めることができました。この11月26日にしゅん工検査を行い、引渡しを受けたところであります。



完成した傍陽小学校特別教室棟。パソコン教室、音楽室、図工室、多目的教室がある。

は、約三世紀に書かれた「魏誌倭人伝」に「租」という税があったそうです。全国統一的な制度として歴史に登場したのは、飛鳥時代だそうです。このように、税にも長い歴史があるという事が分かりました。歴史があるからこそ税も変わっていくんだなと思いました。一方で、税金を納めなくてもよい国がある。それは南太平洋にある「ナウル共和国」という国です。税金を納めなくてもいい国なんてあるのか調べてみたところ、本当にあつてびっくりしました。その国は小さな島国で、「リン鉱石」を輸出する事によって国の収入が確保できるそうです。でも、いずれ「リン鉱石」は無くなってしまうので、近い将来に税金を納める制度を規定するという事です。

やはり、国民が協力して税をしっかりと納め、みんなが助け合うことが生きていく上で一番大切な事だと思えます。もし税がなかったら、警察や病院等の設備をまかなう事ができなくなり、とても大変な事になります。さらに消費税をはじめとし、所得税や住民税、事業税などたくさんの税

によってまかなわれている事がほとんどです。そんな中で税金をごまかす人がいると聞き、その人に税の事を通して一人では生きていけないという事を分かってほしいと思いました。みんながもっと分かり合えば、未来は変わってきます。今は「高齢化」が進んでいるため年金を受け取る人が増加し、若い人達で負担するのが困難になってきているという事実もあります。

私達が成人になったとき、この社会はどうなっているのでしょうか。おそらく、進歩した医療等の設備が充実していることでしょう。それはすべて税の支えがあるからこそ成り立つのです。その事を決して忘れないでいたいと思います。そして、もっと税の在り方を考え、私自身が直接、たれかの役に立っている事を願いながら、これからも税の事について学ぶ機会があれば、ぜひ「自ら進んで学ぶ」という事を大切にしながら、いろいろな事を知り、考えていきたいと思えます。

中学生の税についての作文入選者の記事は17ページに掲載しています。



工事が進む三島平工区のほ場整備事業。1月末には面整備が完了の予定。

真田町児童館が オープンしました。



今年6月から建設が進められてきた真田町児童館が、12月15日にオープンしました。
真田町児童館は、子どもたちに健全な遊びを与え、集団的及び個別的な指導をとおして、子どもの健やかな成長や豊かな情操を育てること。また子ども会や母親クラブなど地域組織の育成と援助を図ることを目的に建設されました。
旧本原保育園跡地に建設された施設の概要は、木造平屋建てで建築面積が295・13㎡。ホール、遊戯室、児童クラブ室、創作活動室、多目的室などがあります。

児童館利用案内

児童館目標

- 助け合いの心や思いやりの心を持てる子の育成
- 学年間のへだたりなく共に仲良くできる子の育成
- 何事にも粘り強くやりぬく子の育成
- あいさつがはつきりできる

子の育成
主な対象児童
町内の18歳未満の子どもが対象です。(未就学児は保護者の同伴が必要です)
開館時間
平日(月曜日～金曜日)
午前10時～午後6時まで
土曜日
午前9時～午後5時まで
(児童クラブの児童は午前8時～午後6時まで)
学校の長期休み・休校日

午前8時～午後6時まで
休館日
日曜日・国民の祝日・12月29日～1月3日
利用方法
入館受付簿に学年、クラス、地区名、名前、自宅電話番号、入館時間を記入してから利用してください。

問い合わせ 真田町児童館
有線2422
☎72-0323



①ゆうぎ室
高い天井で、ボール遊びもできるゆうぎ室。明るい陽の光がさし込む楽しい空間です。

②児童クラブ室

学校の宿題をしたり、本を読んだりできる部屋。ランドセルなど入れられる作り付けの棚もあります。

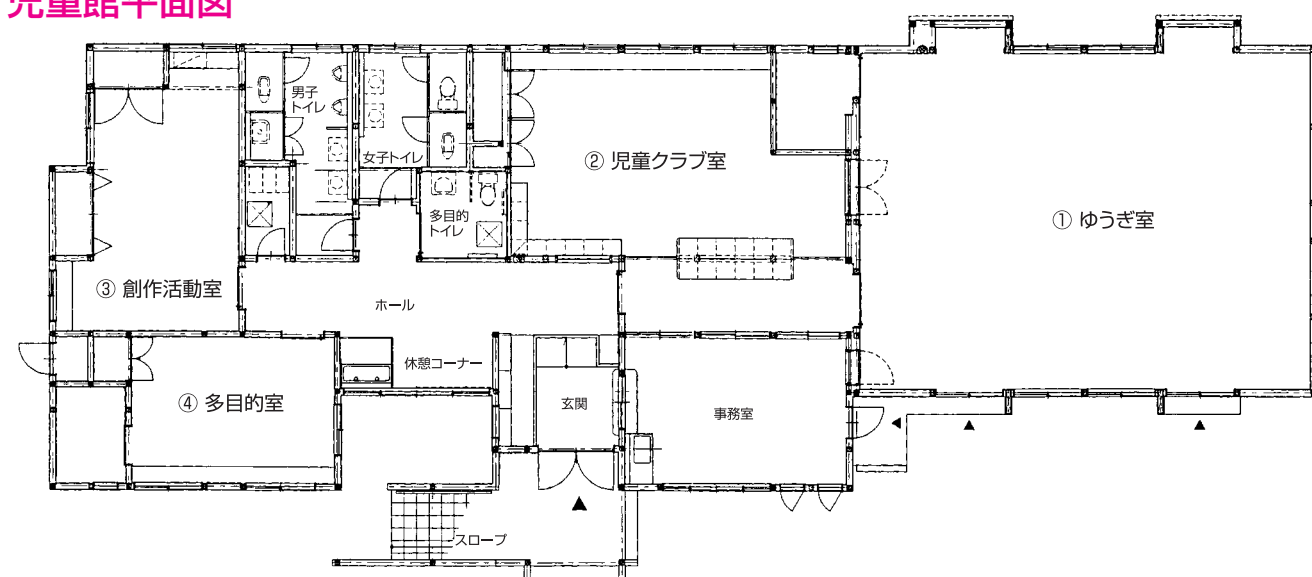


③創作活動室

年長児童や、中高生までが自主的な文化、芸術活動をするスペース。児童館の各種行事の企画や準備にも使えます。



児童館平面図



④多目的室

幼児とおかあさんでの利用や、伝承広場など高齢者との交流など広く利用できます。



堀内精次館長(左)と指導員の佐藤智恵子さん(中)、峰村ひさ江さん(右) みんなが来るのをまっています！

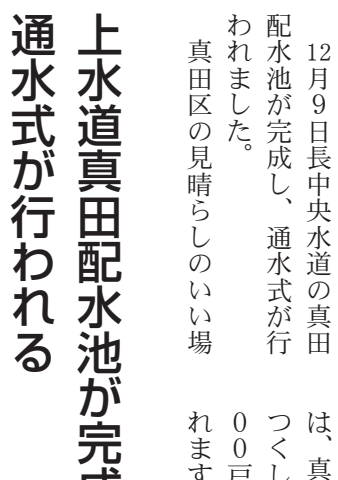
カメラニュース

町の中の様々な出来事や話題をお届けしています。
(このコーナーでは、皆さんから寄せられた写真を一部掲載しています)

男女共同参画を築く講演会で 講談と寸劇発表



12月7日男女共同参画を築く講演会が文化会館で開催され、講談師の宝井琴桜さんによる講演が行われました。
宝井さんは、講談界では女性初の真打昇進をした方。35年前に講談の世界に入ったときは、男性しかいなかったが、現在は半分が女性になったなど自身の経験や、男女共同参画に関する話題と、戦国武将の講談を披露。100人ほどの人が聞き入りました。
また講演の前には、男女共同参画推進委員会による寸劇発表も行われました。



所に建設された新しい配水池は、円筒型2槽式のタンクで、外壁をピアノ線で締め付けて強度を増したプレスレストロコンクリート製。総事業費は約1億円ほどです。
角間と旗見原の二つの水源からこの配水池に流入した水は、真田の一部、戸沢、石舟、つくし、横尾、四日市の約600戸、1700人に供給されます。

上水道真田配水池が完成し 通水式が行われる

めざせ生涯現役セミナーで 男性も手作り料理に挑戦

60歳以上の方を対象に、11月28日、めざせ生涯現役セミナーが開かれました。
生涯現役で豊かな人生を送るための、健康と生きがいづくりを目的に平成11年から行われているこのセミナー。

今年は、調理実習、チューブ体操、水中ウォーキング、ウォーキングの4講座が開かれ、約120人ほどが参加。
「殿方の出番! たのしく手作り料理」と題された調理実習では、参加した男性が、食



生活改善推進協議会の方と、エビとプロッコリーのチャンブルなど5品の手作り料理に挑戦していました。参加した三井製薬美さん(中組)は、「ここで覚えて家でできればいいですね」と話していました。

傍陽小学校の 特別教室棟が完成

今年4月から建設が始まった傍陽小学校の特別教室棟がこのほど完成しました。
新しい特別教室棟は、鉄筋コンクリート造2階建、延床面積は約600㎡。1階には図工室とそえひホールと名付けられた多目的教室、2階にはパソコン教室と音楽室があり、壁などに木がふんだんに使われた明るくやわらかい雰囲気の校舎です。
11月27日には児童たちによる校舎使い初め式が行われ、

翌28日には校内音楽会のあと、新校舎お披露目の式がPTAや地元のみなさんも出席して行われました。
傍陽小学校PTA会長の武捨敦夫さん(中組)は「このような素晴らしい建物が傍陽地域にできたことに勇気をいただいたと思います。傍陽小学校の発展に協力したいと思います」と話していました。

紙版画のカレンダーを 幼稚園児がプレゼント

11月21日、いずみ幼稚園の年長児が自分たちの顔を紙版

画で描いた手作りカレンダーをアザレアンさなだや、ふれあいさなだ館などに贈りました。
アザレアンさなだ



を訪れた園児たちは、「これから元気で長生きしてね」とカレンダーを手渡し、みんなでドレミの歌を披露。
カレンダーをうけたお年寄りのたちも「ありがとう、みんなも元気だね」と話し、園児の歌うドレミの歌に合わせて手拍子を打っていました。

12月7日から21日まで石舟の喫茶ミミールで上田市の宮下高さんが、陶芸と絵画の個展を開きました。
宮下さんは、昭和52年から4年間長小学校の教頭を務め、現在は町の陶芸クラブの講師をしている方。
スチロパールにガソリンをかけて燃やし溶けた表面の変化を生かしたアクリル絵の具で色をつけた絵画や、上田市染谷の土を使い、ゆう薬を使わず焼きしめた「新染谷焼」など約70点が展示示されていました。

宮下高さんが 喫茶店で個展を開催





300人ほどが訪れた消防音楽隊の定期演奏会。長小学校の金管バンドも演奏した。

真田町消防音楽隊の定期演奏会が開かれる

11月22日、文化会館大ホールで真田町消防音楽隊による第14回定期演奏会が開かれ、300人ほどの人が訪れ、演奏を楽しみました。

第1部は、消防団ラッパ手有志と一緒に進行曲を演奏したり、白雪姫の「ハイホー」では、演奏にあわせて白雪姫

と7人の小人のパフォーマンスも披露され、会場からは笑いももれます。

続く第2部は、ここ数年恒例になっている町内小学校の金管バンドの演奏。今年は長小の演奏が行われ、大きな拍手が送られていました。

その後の第3部は、筒美京

平ヒット曲メドレーなど良く知られた曲が演奏され、会場も一緒に手拍子を取り、一体となった演奏となりました。

白石雅文消防音楽隊長は、「音楽隊員を募集しています。楽器の経験のある人も、ないけどやってみたい人でも大歓迎です」と話していました。

お知らせ

1月10日(土)午前9時30分から平成16年真田町消防出初式が真田中学校グラウンドなどを会場に行われます。今年は土曜日の開催になりますので、大勢のみなさんおこしください。

クッキング

No.86

スモークサーモンとアボカドのお寿司

(4～5人分の材料)

米3カップ
スモークサーモン100g
きゅうり1本
(薄切りし、軽く塩もみして水気をとる)
白ごま大さじ2
アボカド1個 (薄切り)
合わせ酢
〈酢70cc・塩10g・昆布5cm角〉



おもてなしの一品にいかがですか?
坂口さち子さん (下原)

(つくり方)

- ①合わせ酢は、鍋に材料を入れ沸騰させないように加熱し、塩がとけたら火をとめて冷やす。少しかために炊いた米と合わせ酢を混ぜて寿司飯を作り、きゅうりと白ごまを混ぜる。
- ②器に長めに切ったラップを十文字に敷いてスモークサーモンを隙間なく並べ、寿司飯、アボカド、寿司飯の順に重ねて入れていく。
- ③ラップをかけて、平らなものでしっかり押す。ラップを取り、皿をあてて返し、取り出す。





ほりうち わかな (中央)
ほりうち まどか (左)
さとう ともみ (右)
夏休みの宿題で税についての作文を書いた。

あの人を訪ねて ⑤③

中学生の税についての作文で入選した
真田中学校3年生。

堀内若菜さん・堀内まどかさん
佐藤智美さん

このほど中学生の税についての作文と標語で町内の中学生8人が入選しました。

これは、次世代を担う中学生に税についての理解を深めてもらおうと行われているもの。作文で入選した3人に感想を聞きました。

関東信越税理士会長野県支部連合会会長賞に選ばれた堀内若菜さんは、FAXなど使って自分で資料を集めて書いたそうで、「調べながら書いたので、税について分かったことがたくさんあって勉強になった」と。上小・更埴租税教育推進

協議会会長賞に選ばれた堀内まどかさんは、少子化で税を負担する人が減ることを知って「いつばい子どもが生まれればいいと思った」と言います。

上田地区納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞した佐藤智美さんは、「税金は社会保障関係費とか色々な使われ方をしていると思った」そうです。なお堀内若菜さんの作文は11ページに掲載しました。

また標語には、次の生徒が入選しました。清水将章、高寺佑佳、堀内香織、上野桃佳 (以上真田中) 樋口裕

こんにちは 読者です

33

このコーナーでは、広報に寄せられた意見について考えます。皆さんのお便りをお待ちしています。



答

防災は住む人
皆に関係すること

太郎山火災の記憶は、地域のみなさんの協力、ご苦勞を思い出させてくれました。

11月号の特集で取材をして話しをお聞きすると、若い人がなかなか消防団活動に参加してくれない現状、またその若い人そのものの数が減っていて、消防団の活動が難しくなってきたことを感じました。

火災や、災害はひとたび起これば、近所や地域全体に関係する問題です。

過去の災害も思い起こして、高齢化の進むこれからの地域では、自主消防隊のような組織で地域の防災を支えることも必要かと思えます。

声

自主消防隊の
必要を感じました。

身近な防災組織消防団が、現状では団員が減少して地域での対応が難しい様子がわかりました。集落の大小にかかわらず団員確保は大きな課題だと思います。高齢化がすすむ現在、自主消防隊の必要を感じました。





昨年の成人式のスナップから ～恩師と～

成人式にお出かけください
平成16年真田町成人式は、「成人の日」の前日の1月11日（日）に開催します。

宮下蘭子さんが教育委員に再任される
宮下蘭子さん（真田区）の町教育委員としての任期が満了しましたが、教育を取り巻く多くの課題が山積する中で、引き続き町の教育振興にご尽力いただくため、町議会の同意を得て、再度教育委員としてご活躍いただくこととなりました。
任期は、平成15年12月22日から平成19年12月21日までの4年間です。なお、宮下さんは、引き続き教育委員長に再選されました。

町総合文化祭開かれる

11月1日から3日にかけて、町民作品展を、また、16日には舞台発表祭が町文化協会の主催で開催されました。

作品展には、写真・絵画・陶芸をはじめ、20の部門に400点を超える作品が出品されました。

また、舞台発表祭では、第1部の民謡・舞踊・吟詠・歌謡の部に32組、第2部の和太鼓の部に2組、第3部の器楽・声楽の部に12組の町民が出場し、自慢の喉や踊り、日ごろの鍛錬の成果が披露されました。

また、変わったところでは、第1部にエンタリーした「ひこうき雲」が、公民館学級として取組んだ「群読」「広島のパカ」を上演し、太極拳やキッズダンスの発表もあり、今年にはバラエティーに富んだ舞台発表となりました。



第1部で「秋田おはら節」を唄う、赤井区の小林まきさん。りんとした歌声を聞かせていただきました。

町立図書館の

基本計画を建議

11月27日、町図書館整備研究委員会（委員15名）が約半年の期間をかけてまとめた、「真田町立図書館「コミュニティライブラリー」基本計画書」が、当委員会代表の小林彰会長から町長に提出されました。

この計画書は、真田町に必要と考えられる図書館の基本的なコンセプト（建設目的）を分析したもので、次の大きな三つのポイントを指摘しています。

○「図書館」という基本的なサービスを提供するライブラリーであること。

○子どもたちからお年寄りまで、生き生きと学ぶことができる生涯学習施設であること。

○人と人が出逢う、コミュニティ施設であること。

これらのコンセプトを踏まえ、この計画書では、新たに図書館を建設する場合の方針や諸条件の整備について、また、合併問題などの流動的要因にも配慮し、公共施設が空いた場合の有効的活用案について、具体的に提案しています。

本委員会では、今回提出した建議書は、研究の中間報告的なものと位置付けており、今後時間もかけて、細部の検討を続けていきたいと考えています。

教育に関する

相談窓口を設置します

町教育委員会では、子どもたちや保護者の皆さんが抱える、教育に関する問題や悩みの解決のお手伝いをするため、平成16年1月から月に1回、教育相談を実施します。

相談事項はおおむね次のとおりです。ただし、高等学校等への進学に関する相談はお受けできませんので、ご了承ください。

○小・中学校への就学について

○いじめ、不登校などについて

○町内学校の教職員について

○その他

相談には、町教育委員や事務局職員、内容によっては専門的知識を有する者が当たります。また、相談内容については、秘密が厳守されます。

教育相談を希望される方は、各月開催日の1週間前までに、教育委員会事務局学校教育係（有線2042・電話72-2655）までお申し込みください。

☆平成16年1月の教育相談は次のとおりです。

日時 1月25日（日）午前9時～12時

会場 真田町文化会館会議室
教育相談の日程については、毎月このページでお知らせします。

大会結果

真田オーブン卓球選手権大会

12月7日、町民体育館で第13回真田町オーブン卓球選手権大会を開催し、上小地域から132人の選手が参加して熱戦が繰り広げられました。町参加選手の主な成績は、次のとおりです

【男子小学生の部】

優勝 小林慶司（本原小）

準優勝 高寺 力（本原小）

第3位 太田信之（本原小）

田畑史郎（本原小）

【男子40代の部】

第3位 荻原良一（中原TC）

〃 高寺 次郎（中原TC）

【男子50代の部】

第3位 細田則夫（中原TC）

〃 勝田道弘（中原TC）

【男子60代の部】

第3位 清水浩行（真田体協）

【女子小学生の部】

第3位 坂口奈緒子（長小）

【女子40代の部】

第3位 山崎あや子（真田体協）

【女子50代の部】

優勝 荻原ます子（中原TC）

準優勝 若林信江（中原TC）

第3位 小川トミ（中原TC）

ソフトバレーボールリーグ戦

11月19日（水）から12月17日（水）ま

で、町民体育館で10チームの参加によりリーグ戦が繰り広げられました。主な成績は、次のとおりです。

優勝 ガッツ中原

準優勝 だるま

第3位 羽根クラブズ

オレンジアタッカーズ

1月の図書館だより

今月の「お話し広場」は、次の日程で開催します。

日時 1月17日（土）午前10時～

場所 児童図書室

担当 たまた箱さん／民話の会の皆さん

今月の休館日

・年末年始休業にともなう休館

12月29日から1月3日まで

・定例月曜等休館 5日（月）／12

日（月）／13日（火）／19日（月）

／26日（月）

・月末整理休館 30日（金）

文化協会加盟サークルの紹介⑥

◆真田町俳句会◆

代表 北沢米和さん

（横尾区…有線3762）

「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」
こんな十七文字に魅せられ、いつか良い句が詠めるかな〜との思いを込めて、歳には関係なく集う、夢多き二十名ほどの仲間からなる会です。四季折々に句会を催し、大勢の方

々のご出席をいただき、俳句はもとより、他の話題にも花が咲いております。町の文化祭にも積極的に参加し、昨年も多数の作品を出品することができました。
また、一茶百七十七回忌全国俳句大会にも参加し、二句が入選いたしました。
これからも夢を追いかけていきたいと思ひます。
夢多き人、気軽にご入会ください。

納税申告相談は 2月16日～3月15日

◆申告が必要な方

平成16年1月1日現在、真田町の住民で次の方を除くすべての方

◆申告する必要がない方

① 給与所得が1箇所だけの方で、給与所得以外の所得が無く、勤務先から真田町役場へ給与支払報告書が提出されている方。

※給与所得者で農業所得を『農業目安割合』で申告される方で申告書を役場へ提出済の方は申告会場へ来ていただく必要はありません。

② 扶養されていて、収入がまったくない方。

③税務署へ平成15年分所得税の確定申告書を提出される方。

◆税務署での申告が必要な方

①譲渡所得がある方（県や町が関与した譲渡については、町会場でも受付します。）

②青色申告をされる方。

詳しい日程は、広報2月号に掲載します。

問い合わせ 税務係

有線2041 ☎72—0154

行政サポーターを 募集します

町では行政の臨時的事務などに町民の方が臨時職員として働いています。行政への参加ときびしい雇用環境の中、一人でも多くの方に職場を提供したいとの観点から「行政サポーター」を募集します。ご希望の方は市販の履歴書をお持ちの上お申し込みください。登録制度ですので、申し込み後登録させていただきます。

職種例 保育士、給食調理員、図書司書、一般事務、施設管理、バス運転、清掃業務など

※16年度は、文化会館管理、学校庁務について募集します。

申し込み・問い合わせ 行政係

有線2011 ☎72—2201

暮らしの中の悩みごと 相談所の開設

上田人権擁護委員協議会女性部会で、暮らしの中の悩みごと相談所を開設します。女性に対する暴力やセクハラ、性差別、家庭内の悩み、いじめなど、日ごろお困りのことについてお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

日時 1月29日(木)

午後1時～4時

場所 リヴィン上田店、

東部町隣保会館

問い合わせ 上田人権擁護委員協

議会事務局 ☎23—2001

商工会の 新春時局講演会

日時 1月11日(日) 午後1時30分～3時30分

場所 文化会館大ホール

テーマ どうなる今後の政局と日本経済の動向

講師 田中秀征氏（福山大学教授／細川内閣で内閣総理大臣特別補佐、橋本内閣で経済企画庁長官）

問い合わせ 真田町商工会

有線2061 ☎72—4050

男女共同参画社会づくり シンポジウム

男女共同参画社会を進めるため、男女が共に自分らしく生きていくため、皆で考え合います。

日時 1月17日(土) 午前10時30分～午後3時30分

場所 男女共同参画センター（あいとぴあ／岡谷市）

シンポジウム 「性差を超えて～科学の光、政治の風、そして社会の明日～」

分科会 事前申し込み必要

締め切り 1月8日(木)

参加費 無料（役場からバスが出ます。託児を希望される方は、申し込みの際、ご連絡ください。）

申し込み・問い合わせ 政策係

有線2015 ☎72—2202

真田町消費生活展に お越しください

日時 1月31日(土) 午前9時30分～午後4時まで

場所 文化会館

テーマ みんなで創ろう循環型社会～リサイクルで資源を大切に～

問い合わせ 生活環境係

有線2046 ☎72—2204

役立っています 水力発電交付金事業

水力発電施設のある市町村に交付される「水力発電施設周辺地域交付金」により大日向宮前地区で水道管の布設替えを行いました。これにより、162mの石綿セメント管がダクタイル鋳鉄管に更新されました。

問い合わせ 上水道係

有線2071 ☎72—4253

森林インストラクターの 養成講座

森林インストラクターは、森の案内や野外活動を指導する認定資格です。

養成講座・第1回 2月21日(土) 丸子町文化会館、2月22日(日) 県林業総合センター（塩尻市）、時間は午前9時30分～午後3時

内容 1回目は、信州大学農学部

助教授の植木達人さんの記念講演をはじめ、試験の概要や合格体験談受講など。2回目以降は、教科に沿った理論と実技全体。

受講料 1回目は2500円

定員 各日100人

締め切り 2月19日(木)

問い合わせ NPO法人やまぼうし自然学校 ☎74—2735

上田・小県地域の 写真作品を募集

上田・小県地域の自然や風景・町並み・伝統行事など、日常生活や年中行事の中で感じた事柄を写真にした作品を募集します。

応募方法 1月13日(火)～2月13日(金)までの間に郵送してください。当日消印有効です。選外作品返送希望の方は切手添付のうえ、郵便番号、返却先を明記した返却用封筒を同封してください。

応募写真 写真サイズはカラープリント四ツ切(25.4cm×30.5cm)。／本人が撮影した未発表の作品。(応募点数に制限はありません。)／作品の裏面に住所、氏名、年齢、電話番号、作品名、撮影年月日、撮影場所を記入した「応募票」を必ず添付してください。／入賞・入選作品とそのネガはお返ししません。入賞・入選作品の著作権は主催者に帰属します。

応募先・問い合わせ 上田地域広域連合事務局企画課 〒386-0025 上田市天神2-4-55

☎23—2130

重度身体障害者対象の 伊豆温泉旅行

重度身体障害者の方を対象に、伊豆方面へ1泊2日の温泉旅行を行います。

日時 3月16日上田発午前9時、3月17日上田着午後4時を予定。

対象者 上小地域にお住まいの重

度身体障害者の方（身体障害者手帳1級程度の方）

参加費 1人29,000円

その他 募集人数は10名で定員なり次第締め切ります。宿泊先は全館バリアフリー。車椅子のまま温泉に入れます。介助者は主催者で手配します。詳しくは問い合わせください。

申し込み・問い合わせ 上田地域身体障害者自立生活支援センター ☎28—5522

町事業の落札業者 (10・11月分)

小型除雪車整備事業

583万円 中部TCM㈱

町道表木北線他舗装修繕工事

767万円 (有)丸藤商会

町道つくし戸沢線他舗装修繕工事

861万円 木島建設㈱

町道羽根尾西組線道路改良工事

1,260万円 (有)新井建設工業

三日城1号線道路改良工事

788万円 木島建設㈱

菅平高原スポーツランド擁壁改修工事

546万円 菅平開発(有)

森林空間整備委託（洗馬城）

504万円 信州上小森林組合

乳幼児健康診査と 予防接種

(1月6日～2月5日)

3歳児健診 1月16日(金) 午後1時15分～1時40分受付、

場所／保健センター、

対象／12年9～11月生まれ

ベビー相談 1月20日(火) 午

前9時～9時30分受付、

場所／保健センター、

対象／15年10・11月生まれ

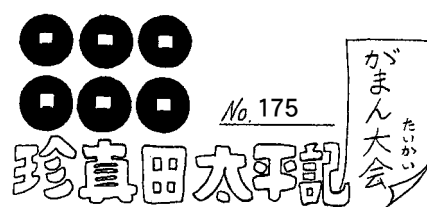
乳児健診 1月27日(火) 午後

1時15分～1時40分受付、

場所／保健センター、

対象／15年3・6・9月生まれ

1歳6か月健診 2月3日(火)



午後1時15分～1時40分受付、

場所／保健センター、

対象／14年5～8月生まれ

三種混合 12～2月、場所／本原医院・小林医院、対象／初回は15年3～8月生まれ、追加は13年9月～14年2月生まれ

問い合わせ 保健センター

有線2053 ☎72—9007

行政相談、心配ごと相談

日時 1月26日(月) 午前9時～正午

場所 福祉センター

問い合わせ 行政係

有線2011 ☎72—2201

または社会福祉協議会

有線2091 ☎72—2998

町営墓地の造成はじまる 愛称を募集します！

町では現在、古城緑地広場、運動広場の西側に町営墓地を3月末完成の予定で造成しています。

募集は4月から、価格などについては、3月に決定する予定です。

区画数は110区画で、1区画6㎡が88区画、5㎡が22区画です。

この施設に、ふさわしい愛称をつけていただきたいと思います。次の内容により大勢のみなさんのご応募をお待ちしています。

愛称 商標登録されていない未発表のものに限ります。

募集期間 1月13日(火)～1月30日(金)

応募方法 ハガキまたは任意の用

紙に①愛称②その理由③住所④氏名⑤年齢⑥性別⑦郵便番号⑧職業⑨電話番号を記入のうえ、役場生活環境係まで郵送するか提出してください。

発表 平成16年2月(予定)

取り扱い 愛称に決定した作品の版權・著作権は真田町に帰属します。

副賞 決定作品1点と応募者の中から抽選で5名の方に粗品をプレゼントします。

応募・問い合わせ 真田町役場生活環境係 〒386-2292 住所記載不要
有線2046 ☎72-2204



さなだ ゆうほう番組表 (1/6～2/5)

放送時間は、夕方6時30分～(再放送は、翌朝6時～)となります。
(おはなしの世界へ、学校・保育園だよりは、夕方4時30分～)

日	曜	番組名	出演者
6	火	駐在所だより	／真田駐在所 綱島所長
8	木	身近な税の話「所得税の還付申告はお早めに」	／上田税務署
10	土	おはなしの世界へ「牛に引かれてお寺参り」	／おとぎの会 小林つた江
13	火	生活のしおり	／上小農業改良普及センター
15	木	農業アドバイス	／上小農業改良普及センター
17	土	おはなしの世界へ「おぼこ清水」	／おとぎの会 一之瀬とく子さん
18	日	保育園だより「今日の給食なあに？」	／そえひ保育園
		みんなの食生活「夜型生活の人のための食事」	／保健センター 山崎栄養士
20	火	みんなの健康「介護サービスと高齢者の生活の質について」	／高齢者支援係 渡辺主査
22	木	さなだ通信	／町内から
24	土	おはなしの世界へ「ぼとんぼとんはなんのおと」	／おとぎの会 広瀬しず江さん
25	日	学校だより「6年生 卒業にむけて」	／傍陽小学校
27	火	暮らしの豆知識	／上田消費生活センター
29	木	「市町村合併について」	／合併対策室
31	土	おはなしの世界へ「子供達の詩」	／おとぎの会 星野照子さん
1	日	学校だより「年度末にむけて」	／真田中学校
3	火	ゴミの処理について	／生活環境係
5	木	駐在所だより	／真田駐在所 丸山巡查

戸籍の窓

めざせ健康 日本一!

こころの健康②

あなたのストレスはどのくらい?

ストレスとは、疲労、人間関係や仕事上の問題など、外からの刺激を受けたときに起こる心や体の歪みや影響のことです。同じストレスがかかっても人によって受け止め方はさまざまで、またそのときの心身の状態によって受け止め方は変化します。次の項目でいくつあてはまるか、ここ1ヵ月くらいのあなたのストレスをはかってみましょう。

こころのストレスチェック表

①家庭内の問題②仕事上の変化③趣味がない④運動習慣なし⑤気分が沈む⑥イライラする⑦疲れやすい⑧人に会うのが嫌⑨朝からだるい⑩寝つきが悪い⑪目覚めが悪い⑫頭が重い⑬肩こり・腰痛⑭食欲不振⑮おなかの張り、下痢・便秘⑯目の疲れめまい⑰息苦しさ・胸痛⑱手足が冷たい、汗をかく⑲よく風邪をひく⑳病院で体には異常ないと言われた。

5個以下 今のところ心配ありません。

6～10個 蓄積したストレスの解消を。

11～15個 休養が必要な状態です。

16個以上 少し危険。医師に相談を。

水道工事当番店

1月の水道工事当番店です。

工事店名	月 日	1 月
金井設備商会(株) ☎72-2118 有線 3356	*	7 20
(有) 駒屋商店 ☎72-3696 有線 2373	*	8 21
(株) 石塚 ☎72-2898 有線 3310	*	9 22
(有) 真田建設 ☎72-2019 有線 5430	*	10 23
石巻設備 ☎73-2021 有線 4454	*	11 24
(有) 長崎商店 ☎73-2511 有線 2368	*	12 25
(株) アサヒ興業 ☎72-3414 有線 5333	*	13 26
(有) ドーム管工 ☎72-0771 有線 4383	1	14 27
山崎設備工業(有) ☎73-2322 有線 4210	2	15 28
(有) 信濃空調 ☎72-5706 有線 6249	3	16 29
若林設備工業所 ☎72-3166 有線 5332	4	17 30
イチノセ管工 ☎72-3000 有線 5216	5	18 31
浅間設備(株) ☎72-3938	6	19 *

「両親からのメッセージ
素敵なものをたくさん
みつけてね!」



松山空くんとお母さん

11月届け出分

♡いつまでもお幸せに

(小林 正樹 上田 市井
若林 真紀 赤 井)

(小林 正明 入軽井沢
赤尾 恵美 石 舟)

(尾澤 儀至 横 尾
青木 美恵 横 尾)

☆お誕生おめでとう

三井 颯希 (直 樹 岡保
さき 千 恵)

小山 流輝 (仁 子 横尾
りゅうき 聖)

佐藤 文也 (文 章 菅平
ふみや 清 美)

大谷総一郎 (和 巳 中原
そういちろう 恵 美)

山宮 瑠音 (龍 雄 石舟
るね かおり)

松山 空 (利 恵 石舟
そら 信)

□ごめいふくをお祈りします

矢島 武昭	59	真 田
白井 茂	90	曲 尾
田中 信子	83	下 原
土屋美智子	66	大 庭
中山 藤子	87	町 原
若林さき子	73	小玉上郷沢
塚田 さだ	94	横 尾
海瀬 梅義	85	曲 尾
鈴木 昭一	65	横 尾

真田町イメージキャラクター

猿飛佐助



©杉浦茂

クリーンキャンペーン

持ち帰ろう!

散歩中の犬のふん

納税と使用料

2月2日(月)

- ・個人町県民税(普通徴収)
- ・国民健康保険税
- ・介護保険料(普通徴収)
- ・有線放送使用料
- ・保育料
- ・町営住宅使用料



真田中地域開放 参観で、健康づくり シンポジウム開催

「自分を守れ!」というテーマで、
食生活についての
シンポジウムが行われた。

11月29日、真田中学校で地域のみなさんに授業などを公開する地域開放参観が行われました。当日は公開授業のほかに給食試食会、PTAによるバザー、3年生による混声四部合唱なども行われ、保護者など多くの人が真田中学校を訪れました。

そして午後「自分を守れ!」と題した食生活、特に朝食について考える健康づくりシンポジウムが開催されました。初めに川崎医療福祉大学の小野寺昇教授が基調講演。小野寺教授をコーディネーターに、真田中の北島篤先生、生徒会保健委員長の田中まきほさん、給食委員長の山上直子さん、PTA保健厚生部長の清水聖子さん、町保健センターの樋口綾保健師が、シン

ポジストとして、それぞれの活動などから食生活や朝食を食べる大切さ、健康について発表を行いました。会場の生徒や保護者からは、「朝食をぬくと、体に悪い影響があるのですか?」とか「お弁当を作っていると、朝食作りに時間がかけられない」など活発な質問や意見が出されていました。

Town Topics January 2004

季節の中で

今月は、表紙写真の撮影でシルバー人材センターのしめ飾り作りにうかがいました。

しめ飾りは、通常の縄と違って左になうそうです。取材で話を聞いた真田町誌編さん主任の酒井佐さんによると、これは民俗学でいうところの「晴れ」と「け」の違いではないかとの話でした。「晴れ」は表立ってはなやかなこと、「け」は改まった場ではない、日常的なことです。お正月のしめ飾りは、普段とは違う改まった縄なので通常と反対になわれるというのもおもしろいなと思いました。(なべ)

インターネット情報

<http://www.sanada.or.jp/>

<http://www.town.sanada.nagano.jp/>

わたしたちの町の人口

総数 11,819人 (-12)

男 5,836人 (-12)

女 5,983人 (±0)

世帯数 3,761戸 (-2)

平成15年12月1日現在 ()内は前月比